

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経営組織論A (Business organizationA)		授業コード	E013201
担当教員名	奥田 憲昭		科目ナンバリングコード	E30204
配当学年	3年生	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	講義をよく聞くとともに、教科書を用いて予習・復習を行い、なんども反復学習を行うこと。私語は禁止する。			
教科書	キャリアで語る 経営組織 個人の論理と組織の論理 有斐閣アルマ			
参考文献及び指定図書	現代経営組織論の基礎 佐久間信夫・坪井純一編著 学文社			
関連科目	企業形態論、中小企業論			

授業の目的	経営組織の基本から組織論の生成と発展、組織論の近年の動向を理解することを目的とする。
授業の概要	ソフトウェアで書かれた教科書に沿って授業を行う。内容は、入社から社長になるまでに直面する基本的な経営組織問題を取り扱う。第5週目は代表的会社事例を取り上げて講義する。第6週目には宿題として出された実際に自分に興味のある会社を取り上げ、報告する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：第1章 キャリアを考える：個人の欲求と会社の目的 授業の進め方、1. 個人に欲求と行動 2. 会社とはなにか	予習：必要なし 復習：繰り返し教科書・ノートを見直す
第2週：第1章 キャリアを考える：個人の欲求と会社の目的 3. 付加価値を生むプロセス 4. 会社で働くキャリア	予習：教科書第1章2頁～26 頁を読んでおく。復習：繰り返し教科書及び講義ノートを見直す。
第3週：第2章 入社する：社会化と組織文化 1. 経営組織の社会化と組織社会化プロセス 2. リアリティ・ショックとRJP 3. 組織文化 4. 同質性の怖さと過剰な社会化	予習：教科書第2章27頁～54頁 を読んでおく。復習：繰り返し教科書・ノートを見直す。
第4週：第3章 会社と仕事に慣れる 1. 官僚制、2. 仕事に対する欲求 3. 内発的動機づけ 4. 会社jのなかでの自律性	予習：教科書第2章60頁～87頁 を読んでおく。復習：繰り返し教科書・ノートを見直す。
第5週：日本企業の組織 課題 日本企業の会社組織を調べる 事例 トヨタ自動車株式会社	予習・復習なし
第6週：日本企業の組織 課題報告 数名	予習・復習なし

第7週：人事異動:会社のなかでのキャリア開発		予習:教科書第4章89頁～
1. 会社の人事管理、2. 組織と個人の関係、3. 個人のキャリア・マネジメント		114頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書・ノートを見直す。
第8週：第4章 人事異動:会社のなかでのキャリア開発		予習:教科書第4章89頁～
1. 会社の人事管理、2. 組織と個人の関係、3. 個人のキャリア・マネジメント		114頁を読んでおく。繰り返し教科書・ノートをも直す。
第9週：第5章:部下を持つ:リーダーシップ		予習:教科書第5章118頁～
1. リーダーシップの意義 2. 優れたリーダー行動、3. 臨機応変のリーダー行動、4. 長期的視点のリーダー行動		143頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書・ノートを見直す。
第10週：第6章 部内をまとめる 集団のダイナミズム		予習:教科書第6章146頁～
1. 意思決定のプロセス 2. 集団の意志決定はどのようになされるのか 3. 集団の失敗 4. 集団の罫から逃れるためには		174頁を読んでおく。復習:教科書・ノートを見直す。
第11週：第8章 あこがれの経営企画室へ:組織デザイン		予習:教科書第8章212頁～
1. 組織デザインの基本的スタンス 2. 組織における分業 3. 分業されたタスクの調整方法 4. ヒエラルヒーの設計 5. 追加的な調整手段 6. 働く人びとの視点		240頁を読んでおく。復習:教科書・ノートを見直す。
第12週：第11章 ついに社長に就任:経営理念とビジネスシステム		予習:教科書第11章を読んでおく。復習:教科書・ノートを見直す。
1. 経営者を取り巻く利害関係者 2. 経営者のビジョンとリーダーシップ 3. 経営者の役割 4. 価値の創出 5. ビジョンと事後合理性		
第13週：コーポレート・ガバナンス論		予習:配布されたプリントを読む
1. 株式会社の機関設計の多様化、2. 監査役会設置会社、3. 取締役会の問題点と改革等について学修する。		読んでおく。復習:繰り返しプリント・ノートを見直す。
第14週：組織文化論		予習:配布されたプリントを読む
1. 組織文化とは、2. 組織文化としての日本的経営論、3. 日本的経営の特色、4. 日本的経営の変化		読んでおく。復習:繰り返し、プリント・ノートを見直す。
第15週：試験について解説		試験問題集により試験勉強をしておくこと。
教科書の出題範囲について 試験問題集の配布と説明		
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	教科書で予習をし、講義をよく聞き、復習をする。
【知識・理解】	講義で取り上げた内容を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	30点	20点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
(「人間力」について)				
※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	出席・報告(課題レポート)・期末試験で総合的に評価する。
レポート・作品等 (提出物)	課題レポートの提出
発表・その他 (無形成果)	